

2019年度 変額終身(特別勘定)決算のお知らせ

変額終身保険

特別勘定グループVL02型

- 当資料は、特別勘定の運用状況等を開示するための資料であり、生命保険契約の販売、または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、万一の保障を終身にわたり確保できる終身保険と、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額や解約返戻金額等が変動(増減)する変額保険の特徴をあわせもった生命保険です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2020年7月作成



PGF生命

ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2019年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向（2019年4月1日～2020年3月31日）

市場動向

2019年度の国内株式市場は、米中間の通商問題を背景に輸出が伸び悩む中、夏場にかけて上値の重い展開が続きました。その後、米中間の通商協議の進展や米連邦準備制度理事会による政策金利の引き下げを好感し、日経平均株価は当期の高値を更新する場面もありましたが、年明け以降は新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気して株価は下落し、当期末の日経平均株価は18,917.01円で終了しました。

国内債券市場は、国内景気の先行き不透明感や海外金利の低下により10年国債金利は低下した後、米中間の通商協議の進展により上昇に転じました。年明け以降は、新型コロナウイルスの感染拡大によるリスク回避目的の国債購入と財政出動による国債増発懸念により金利は上下に交錯した結果、当期末の10年国債金利は0.005%で終了しました。

米国株式市場は、夏場にかけて上値の重い展開が続きましたが、10月以降は米中間の通商協議の進展を好感して最高値を更新する展開となりました。しかし、年明け以降は新型コロナウイルスの感染拡大により世界的にリスク資産からの逃避行動が強まった結果、当期末にかけて株価は下落し、当期末のS&P500種指数は2,584.59で終了しました。

米国債券市場は、景気減速への懸念を背景に10年米国国債金利は低下基調で推移しましたが、秋口以降は安定した動きとなりました。年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大により景気悪化が鮮明となると金利は急速に低下し、10年米国債金利は0.67%で終了しました。

外国為替市場は、米中間の通商問題による世界経済の後退懸念と米連邦準備制度理事会による政策金利の引き下げにより、夏場にかけて円高となりました。その後、米中間の通商問題の進展によりリスク資産が選好され、円安の展開となりました。年明け以降は、新型コロナウイルスの感染拡大による金融市場の混乱によりドル円相場は乱高下し、為替レートは1ドル108.83円で終了しました。

変額終身保険の運用にあたっては、資金の流出入に合わせ、運用対象の投資信託の組入れ比率を高水準に保つように運用を行っております。

主な市場の動向

	10年国債金利 (日本)	日経平均株価 (円)	10年国債金利 (米国)	S&P500種指数 (米国)	ドル円相場
2019年3月末	-0.095%	21,205.81	2.41%	2,834.40	110.99円
2020年3月末	0.005%	18,917.01	0.67%	2,584.59	108.83円
変化幅	+0.100%	-2,288.80	-1.74%	-249.81	-2.16円

2. 保有契約高

(2020年3月末)

	件数	金額（百万円）
変額終身保険	326	2,838

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	グローバル9資産バランス運用型	
	ユニットバリュー	運用利回り
2019年 3月末	104.1778	
2019年 4月末	105.1511	+0.93%
2019年 5月末	102.7150	-1.40%
2019年 6月末	104.3040	+0.12%
2019年 7月末	105.7965	+1.55%
2019年 8月末	104.5063	+0.32%
2019年 9月末	106.5391	+2.27%
2019年10月末	108.0520	+3.72%
2019年11月末	109.2029	+4.82%
2019年12月末	109.9728	+5.56%
2020年 1月末	110.1569	+5.74%
2020年 2月末	105.5816	+1.35%
2020年 3月末	94.2712	-9.51%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
 運用利回りはユニットバリューの2019年3月末からの伸び率を記載しております。
 特別勘定の設定日は2017年6月1日です。

4. 資産の内訳

(2020年3月末)

(単位：百万円、%)

	グローバル9資産バランス運用型	
	金額	構成比
現預金	0	0.2
投資信託	26	99.8
その他	0	0.0
合計	26	100.0

5. 運用収支状況 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	グローバル9資産バランス運用型	
	金額	
利息配当金収入	0	
有価証券売却益	----	
有価証券評価益	----	
為替差益	----	
その他の収益	----	
有価証券売却損	----	
有価証券評価損	2	
為替差損	----	
その他の費用	0	
収支差計	▲2	

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）グローバル9資産バランス運用型

運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「グローバル9資産バランスファンド（適格機関投資家限定）」
（運用会社：りそなアセットマネジメント株式会社）に投資することにより行います。

運用内容

特別勘定への資金の流入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は99.8%です。

当年度末のユニットバリューは94.2712となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は-5.73%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買入・売却により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2017年6月1日

	ユニットバリュー	運用利回り
2019年 3月末	104.1778	
2019年 4月末	105.1511	+0.93%
2019年 5月末	102.7150	-1.40%
2019年 6月末	104.3040	+0.12%
2019年 7月末	105.7965	+1.55%
2019年 8月末	104.5063	+0.32%
2019年 9月末	106.5391	+2.27%
2019年10月末	108.0520	+3.72%
2019年11月末	109.2029	+4.82%
2019年12月末	109.9728	+5.56%
2020年 1月末	110.1569	+5.74%
2020年 2月末	105.5816	+1.35%
2020年 3月末	94.2712	-9.51%

※運用利回りはユニットバリューの2019年3月末からの伸び率を記載しております。

保有有価証券の明細

(2020年3月末)

(単位：百万円)

銘柄名	種別	時価額
グローバル9資産バランスファンド（適格機関投資家限定）	投資信託	26

7. 組入投資信託の運用レポート

基準日：2020年3月31日
 設定・運用：りそなアセットマネジメント株式会社

グローバル9資産バランスファンド(適格機関投資家限定)

◆当資料は、「変額終身保険」の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料であり、生命保険契約の販売または投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
 ◆当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
 ◆当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社による運用報告をPGF生命が提供するものであります。また、当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

- 主な投資対象 …… 国内債券、先進国債券、先進国債券(ヘッジ付)、新興国債券、国内株式、先進国株式、新興国株式、国内リート、先進国リーートの各々の資産を対象とする指数に連動する9つのマザーファンドに投資します。
- 目標とする運用成果 … 各マザーファンドを通じ、世界各国の債券、株式、リートなど9つの資産に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額・純資産総額

基準価額	9,766 円
純資産総額	26.5 百万円

◆ 資産構成

資産	配分比率	基本的資産配分比率
国内債券	28.9%	28.3%
先進国債券	5.9%	2.0%
先進国債券(ヘッジ付)	29.6%	28.3%
新興国債券	1.9%	2.0%
国内株式	4.5%	6.3%
先進国株式	20.7%	21.8%
新興国株式	2.0%	3.8%
国内リート	2.9%	2.1%
先進国リート	3.4%	5.4%
その他	0.3%	---
合計	100.0%	100.0%

*配分比率は、ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 *基本的資産配分比率は原則年1回程度、独自の定量モデルを用いて決定します。

◆ 基準価額の推移



*基準価額(分配金再投資)は、設定日(2017年5月15日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 *基準価額(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の値です。
 *基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

◆ ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

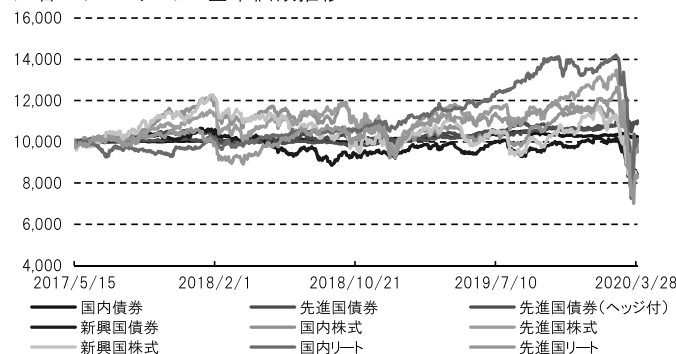
	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-13.39%	-10.18%	-7.94%	-	-	-	-0.82%
ファンドリスク(分配金再投資)	-	-	12.09%	-	-	-	8.51%

*ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。
 *収益率は、期間が1年以上の場合は年率換算しています。期間が1年未満のものについては年率換算していません。
 *リスクは、月次収益率より算出し、年率換算しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。また期間が1年未満のものについては表示していません。

◆ 各マザーファンドの騰落率

資産	1か月間	3か月間	6か月間
国内債券	-1.63%	-0.45%	-1.47%
先進国債券	0.15%	2.15%	3.68%
先進国債券(ヘッジ付)	0.95%	3.95%	1.93%
新興国債券	-13.96%	-16.89%	-11.96%
国内株式	-6.00%	-17.47%	-10.39%
先進国株式	-14.83%	-21.60%	-12.87%
新興国株式	-19.66%	-26.70%	-16.22%
国内リート	-20.92%	-25.07%	-25.57%
先進国リート	-25.23%	-28.44%	-27.11%

◆ 各マザーファンドの基準価額推移



*各マザーファンドの基準価額は、設定日(2017年5月15日)の前営業日を10,000として指数化しています。

●当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

ご契約に関する
ご照会は
コールセンターまで

PGF生命コールセンター

通話料
無

コール ジ ブ ロ ッ ク
0120-56-2269

受付時間

平日 9:00~18:00 / 土曜 9:00~17:00 (日・祝日・12/31~1/3を除く)

「PGF生命」は「プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命」の略称です。